

## 弦が揺れると、僕は季節の風になる

\* 文 佐田大陸 text by Tairik Sada \*

## 合唱曲「星唄」

作 詞：諏訪市立四賀小学校の児童たち  
補作詞：TSUKEMEN/轟千尋  
作 曲：TAIRIK  
編 曲：轟千尋

この広い宇宙(そら)にきらめく星は  
いつでもほくらをつつんだ  
手をつなぎ きみと歩いたこの道はどこまでも続いてる  
一緒に眺めた湖 ひとり見上げた空  
いつも心の中にある ほくらのふるさと  
小さな星でも 願いは叶うきつと 輝け ほくたちの星  
この広い宇宙(そら) にながれる星の軌跡に願いをこめて  
肩くんで きみと歩いたこの町で  
いつまでも生きてゆきたい  
一緒に登った山々 ひとり泳いだ川  
いつも心の中にある ほくらのふるさと  
小さな星にも 願いは届くきつと 輝け ほくたちの星  
ラララ…  
ほくらの想いのせて  
未来(あした)へ響け 星唄



## profile

TAIRIK(たいりく)  
ヴァイオリニスト/ ヴィオリスト/ 作曲家  
桐朋学園大学音楽部卒業、同大学院修了  
ヴァイオリン&ピアノによる3人組インスト・ユニット  
「TSUKEMEN」を結成後、キングレコードよりメジャー  
デビュー。最新アルバム「HAPPY キッチン」など、リリー  
スしたCDはクラシック・チャート1位を次々と獲得。国内  
にとどまらず、アメリカ、アジア、ヨーロッパなどで700本  
を超える舞台に立ち、50万人以上の観客を魅了。近年で  
はTSUKEMENに加え、古澤巖氏と結成した弦楽四重  
奏団「品川カルテット」、水谷晃氏と結成した「MIZUTANI  
× TAIRIK」も大反響を呼んでいる。  
「徹子の部屋」「題名のない音楽会」「きょうの料理 栗  
原はるみのキッチン日和」など数多くのTV番組に出演。  
SBCラジオ「TSUKEMEN TAIRIKの信 TAIRIK 発見」  
毎週月曜 15:00 台にレギュラー出演中。  
<https://tsukemen-music.com>

## 希望のバトン

先日、長野県諏訪市にある四賀小学  
校の150周年の式典に参加させて  
いただきました。合唱曲「星唄」を式  
典で歌いたいということでお声がけい  
いただきました。

元々デビューしてまもなくインスト  
用に作曲した「星唄」は、僕の故郷  
の長野の星空をイメージした曲です。  
TV信州「里山物語の公式テーマ曲」  
として今でも長野県で流し続けてくだ  
さっています。

僕の母校、長野県諏訪市にある城南  
小学校の1、2年生時の担任の林先生  
には今でもお世話になっていきます。遡  
ること12年。恩師の次の赴任先は同じ  
諏訪市にある四賀小学校。  
ある日、「星唄に子どもたちと一緒に

に歌詞をつけて合唱曲として歌いた  
い」という話を持ち上がり、林先生が  
受けもつ6年生のクラスで引き受けて  
くださることにになりました。自分の所  
属するグループ、TSUKEMENの  
メンバー3人と共に四賀小学校に向か  
い授業に参加。  
「子どもの頃に持っているキラキラし  
た夢をいつまでも忘れないで欲しい」  
という思いで作曲した「星唄」。  
さっそくメロディを演奏し「どんな  
言葉が浮かんでくる？」と問いかけ  
ると、真っ直ぐな目をした子どもたち  
は、感じたままの気持ちを次々と口に  
出していく。虹色の言葉の断片が重な  
り合う。広げられた模造紙に、マジッ  
クペンで次々と書き込まれていく言  
葉たち。無垢な子どもたちの想いが  
一つになったその時、教室が揺れる。

2011年3月11日、東日本大地震  
が発生。  
それから12年。校長室で眠っていた  
星唄の楽譜を現四賀小学校校長、赤羽  
先生が見つけてくださいました。歌詞  
に目を落とすと、そこには子どもたち  
からの希望に満ちたメッセージ。「歌  
い継いでいかなければ」と感じてくだ  
さったそうです。

自分の人生の使命とは、生きる意味  
とは。我々は時折そんな事を考えなが  
ら、偶然の顔をした必然に、時にもが  
き、時に諦めながら受け入れて進んで  
いく。全員が願った通りの人生を送れ  
るわけではないかもしれない。人生は  
不平等だな、と強く思う反面、今懸命  
に生きている命にはどうか平等に光が  
降り注ぐようにと願ってやみません。